資料－１ 様式２

令和6年度　五十鈴川水系
流域治水プロジェクト　フォローアップ

様式２

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採、堤防整備

【概要】
〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
〇堤防未整備箇所の築堤工事に着手した。
〇次年度以降も引き続き実施していく。

R６年度五十鈴川　河川改修等			
事業費	約4.2億円	掘削、築堤	約1.5万㎥

五十鈴川（門川町）

五十鈴川（門川町）

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和４年９月台風１４号災害対策

【概要】
〇五十鈴川水系では、令和4年台風14号により河川災が11件発生。
〇令和6年度までに、このうち8件が完成し、3件を施工中である。引き続き、早期復旧に努めていく。

五十鈴川（門川町）

秋元川（美郷町北郷）

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河川増水による逆流防止対策　等

【概要】
〇潜水橋などのアクセス道路が浸水する操作（閉鎖）できない樋門があるため、令和5年度から、樋門自動閉鎖化に着手した。
〇3箇所が設計済み、このうち、1基を令和6年度から施工中である。

五十鈴川3号樋門（門川町）

五十鈴川6号樋門（門川町）

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】
土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R６年度実績			
砂防	３渓流	急傾斜	３箇所

汐谷川１　砂防（美郷町北郷）

梅ノ木地区　急傾斜（門川町）

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
〇適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。

森林整備事業の取組状況（令和５年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
①再造林：６２４ｈａ　②下刈り：２，９５４ｈａ　③除間伐：８６５ｈａ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山事業（治山ダム・落石対策等）

〇林地荒廃防止、災害復旧のため落石対策等を実施した。

R6年度実績		
工種	箇所数	事業費（千円）
落石対策工	1箇所	84,275

様式２

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

門川町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】
〇西門川の下ノ内川において、堆積している土砂を除去し、河道を掘削することにより、
洪水等が起こらない様に対処した。

R6年度実績			
実施河川数	1河川	樹木伐採	
事業費	約1.5百万円	河道掘削	約150㎥

下ノ内川

下ノ内川

※R7.3月の土砂除去後
写真掲載予定

実施後

門川町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・下刈等）

【概要】
主伐後の再造林や保育（下刈等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

【実績】（令和6年度）
造林　33ha　　下刈　127ha

様式２

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	用水路整備

【概要】
〇洪水氾濫を減らすため、用水路を整備し流水の貯留機能の拡大を実施した。

R６年度実績			
実施箇所数	5箇所	整備延長	140m
事業費	約5.0百円		

美郷町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】
　用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	４０
多面的機能支払制度	３３
計	７３

様式２

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】
再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和６年度予定）

事業区分	事業内容	面　積
森林整備	新植	２４１ha
	除間伐	６７ha
	計	３０８ha

美郷町の森林面積 ：　４０，１６４ha
うち民有林面積 ：　３９，１００ha

森林整備センター	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

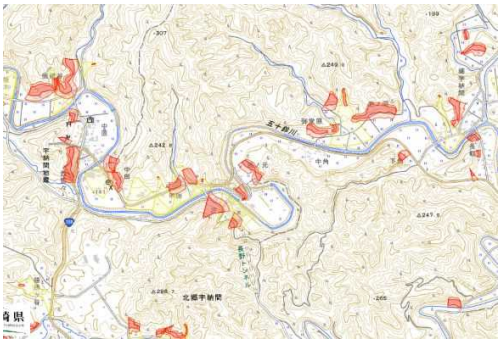
令和６年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
0ha	19ha	65ha	26ha	1,960m

森林整備実施イメージ

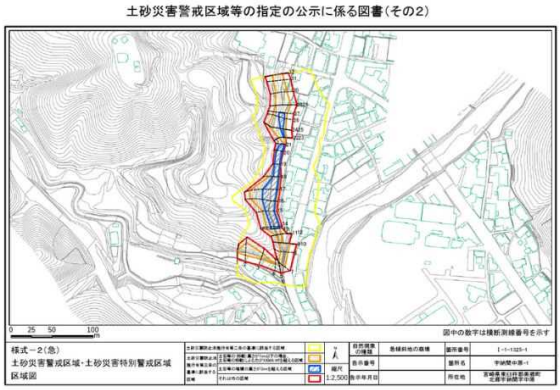
令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	２．被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】
〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、現在、２巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】
毎年６月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R６年度実績			
実施校数	１校	参加生徒数	４８人

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○　土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発

五十鈴土地改良区　（五十鈴川）

百町原土地改良区　（石並川）

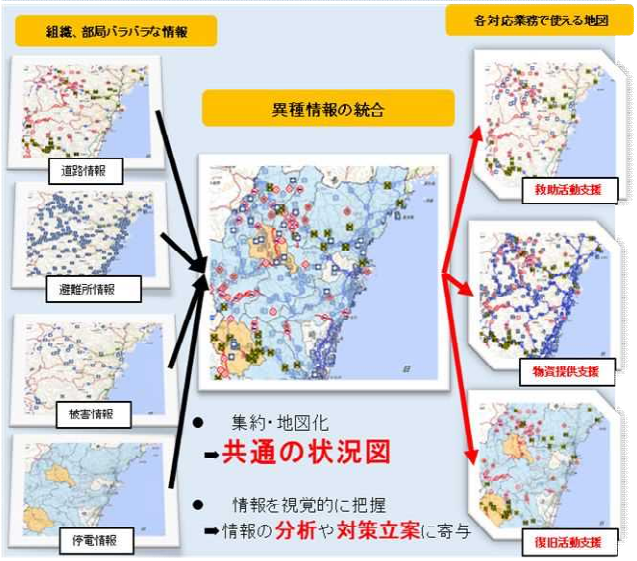
宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク

システムの概要

共有システム画面

システムのイメージ



様式２

令和６年度　五十鈴川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ		
宮崎県、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	特定都市河川に関する勉強会

流域治水をより実効性の高い取組とするため、特定都市河川に関する勉強会を令和６年８月２２日に開催した。

参加者：

日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町の関係課長

宮崎県県土整備部河川課、日向土木事務所

講師：

国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

勉強会の内容：

指定要件及び指定区間の考え方、

各管理者の取組イメージ、

指定によるメリット・デメリット等

資料－１ 様式２

令和6年度　塩見川水系
流域治水プロジェクト　フォローアップ

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削・樹木伐採

【概要】
〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
〇次年度以降も引き続き実施していく。

R6年度塩見川水系　河道掘削			
事業費	約15百万円	河道掘削	約1.5千㎥

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】
土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R６年度実績			
砂防	０渓流	急傾斜	４箇所

岩崎－１地区　急傾斜（日向市）

本谷②③地区　急傾斜（日向市）

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

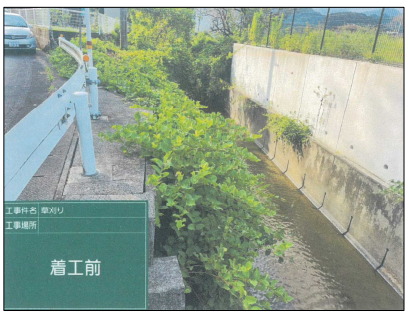
〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
〇適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。

森林整備事業の取組状況（令和５年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
①再造林：６２４ｈａ　②下刈り：２，９５４ｈａ　③除間伐：８６５ｈａ

日向市 【建設課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

〇河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。

【実施河川】▼塩見川水系東川

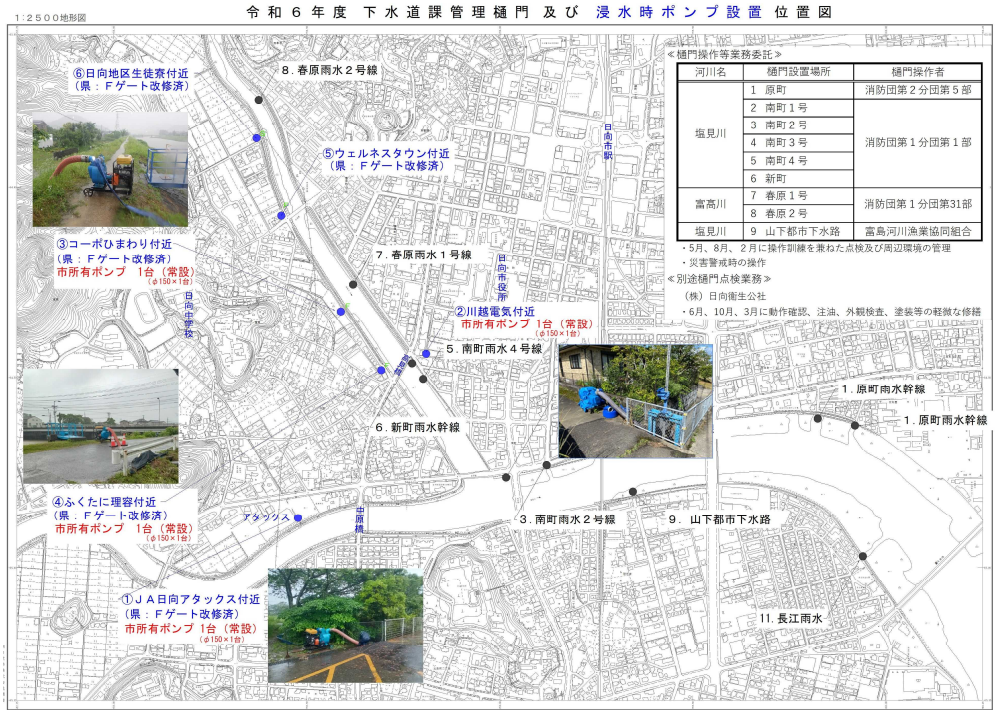


様式２

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【下水道課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	仮設排水ポンプの設置

○近年の異常気象によるゲリラ豪雨や台風の接近等により、浸水被害が想定される地域（南町、中原、高見橋通り周辺）において、仮設排水ポンプを設置し、必要に応じて排水作業を行う。



日向市 【消防本部警防課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	消防ポンプ車で内水を汲み上げ河川に放流

（概要）
大雨時、内水氾濫に備え、消防ポンプ車の吸管で、内水に溜まった雨水を汲み上げ、河川に放流する体制を整える。

（目的）
河川の水位が内水よりも高い場合、水門を閉鎖せざるを得ず、溜まった雨水などの内水を、河川に放流し水位の上昇を防ぐ。

（効果）
消防ポンプ車で内水を汲み上げ、河川に放流し内水の水位を下げることで、住民の安心、安全を確保する。

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【林業水産課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。

〇間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和５年度実績】

造林面積：44.96ha

間伐面積：67.29ha

森林整備センター	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和６年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
0ha	0ha	0ha	36ha	0m

森林整備実施イメージ

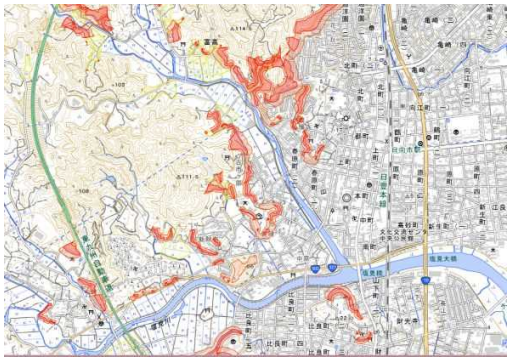
間伐実施前　　間伐実施後

様式２

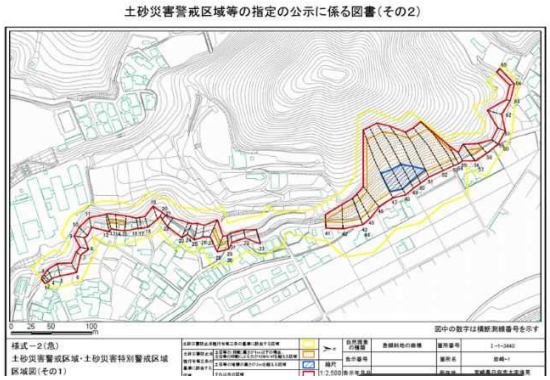
令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	２．被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

【概要】
〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、現在、２巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。
〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼

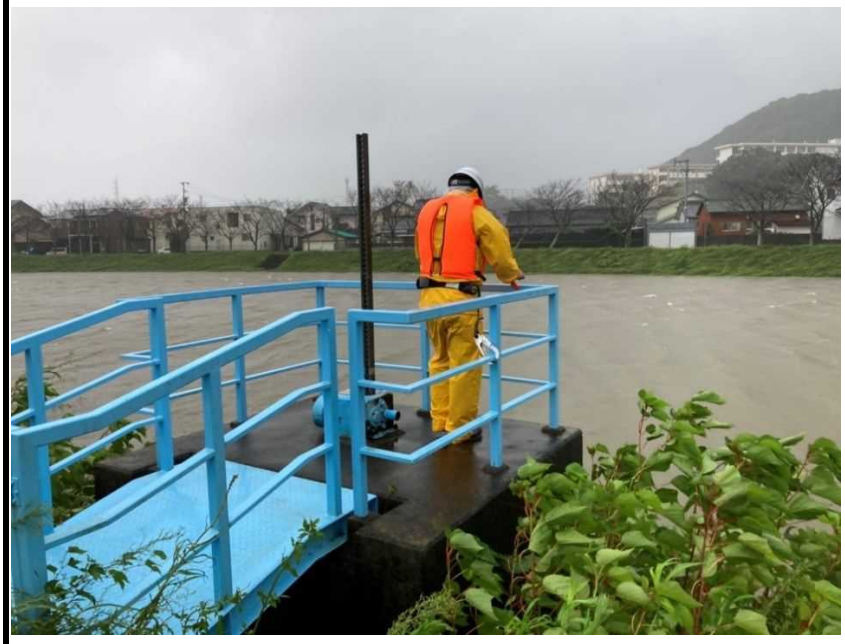


県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表
HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

日向市 【消防本部警防課】	【大項目】区分	２．被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川水位の定期的な監視



（概要）
ライフジャケットを着装し、安全帯のカラビナを手すりに決着するなど、安全に配慮しながら、河川水位を定期的に監視する。
（目的）
水門監視受託者である消防団は、常に、危険を伴いながら河川を監視し、水位の情報を早期に住民に知らせる。
（効果）
住民の生命、身体及び財産を水害から守る。

様式２

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

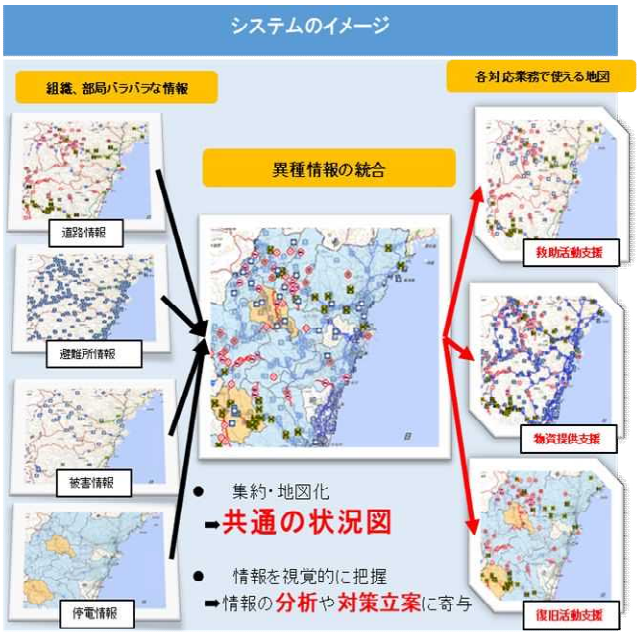
宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】
毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

R６年度実績			
実施校数	２校	参加生徒数	１４１人

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【建設課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長（km）	点検方法	
			頻度	時期
A（重要）	43	71.9	年１回	出水期前（５月下旬～６月上旬）
B（準重要）	40	50.8	年１回	台風接近時期前（６月～８月）
C（その他）	38	66.2	年１回	年間を通じて（９月～３月）
計	121	188.9		

【対象河川】▼塩見川水系の普通河川（東川ほか７河川）

日向市 【防災推進課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援

学校での防災講話の様子（塩見小学校）

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所等をハザードマップで確認し、早期避難のための意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生のメカニズムや浸水想定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認することにより早期避難の重要性を考える機会となった。

様式２

令和６年度　塩見川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ		
宮崎県、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	特定都市河川に関する勉強会

流域治水をより実効性の高い取組とするため、特定都市河川に関する勉強会を令和６年８月２２日に開催した。

参加者：

日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町の関係課長

宮崎県県土整備部河川課、日向土木事務所

講師：

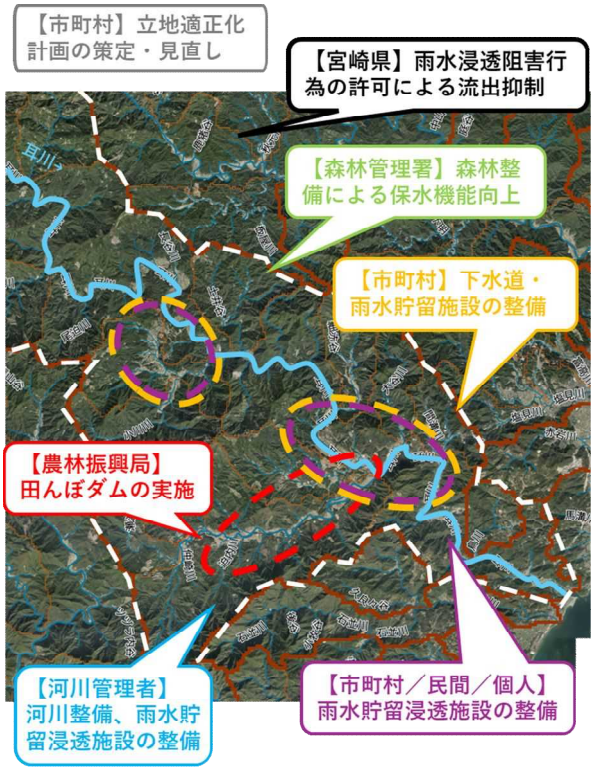
国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

勉強会の内容：

指定要件及び指定区間の考え方、

各管理者の取組イメージ、

指定によるメリット・デメリット等



	【大項目】区分	
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	

資料－１ 様式２

令和6年度　耳川水系
流域治水プロジェクト　フォローアップ

様式２

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】
〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
〇次年度以降も、他の河川も含め引き続き実施していく。

R６年度耳川水系　河道掘削			
事業費	約2.9億円	河道掘削	約4.6万㎥

耳川（日向市鹿瀬地区）

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	福瀬大橋架替、和田地区土地利用一体型水防災事業

【概要】
〇日向市福瀬大橋の架替工事に令和4年から着手し、現在2基目の橋脚を施工中。
〇美郷町和田地区において、令和6年度から土地利用一体型水防災事業に着手した。

日向市　福瀬大橋橋梁架替

美郷町　和田地区　土地利用一体型水防災事業

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	令和４年９月台風１４号災害対策

【概要】
〇耳川水系では、令和4年台風14号により河川災が51件発生。
〇このうち、令和6年度までに39件が完成。引き続き早期復旧に努めていく。

美郷町 鳥の巣地区

日向市 鶴野内地区

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	内水被害の軽減や拡大防止

【概要】
〇本川掘削による外水位を低下に加えて、内水地区から排水しやすくするために、支川の堆積土砂除去を実施。引き続き、堆積状況を見ながら掘削工事を行っていく。

R6年度耳川水系　河道掘削			
事業費	約0.3億円	河道掘削	約０.3万㎥

迫野内川（日向市地内地区）

様式２

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

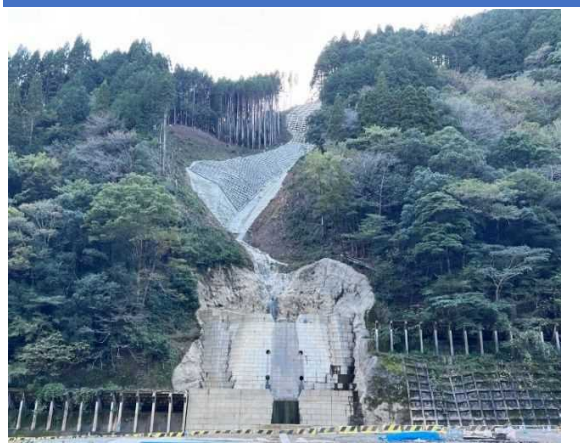
宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	土砂災害対策
	【小項目】対策メニュー	砂防関係施設の整備

【概要】
土砂や流木の流出及び急傾斜地の崩壊による土砂災害を防止するため、砂防堰堤及び急傾斜地崩壊対策施設の整備を進める。

R６年度実績			
砂防	4渓流	急傾斜	６箇所

鵜毛谷川2　砂防（日向市）

鹿野遊谷川　砂防（椎葉村）



宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
〇適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。

森林整備事業の取組状況（令和５年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
①再造林：６２４ｈａ　②下刈り：２，９５４ｈａ　③除間伐：８６５ｈａ

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

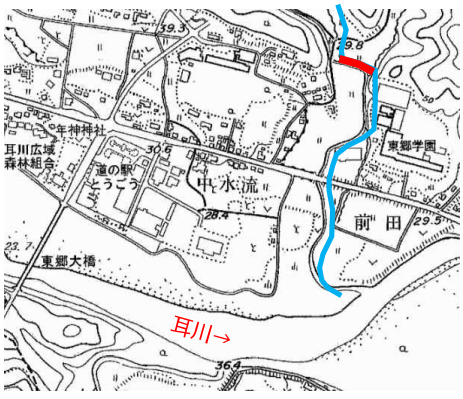
宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	治山事業（治山ダム・落石対策等）

○林地荒廃防止、災害復旧のため治山ダム工・山腹工等を実施した。

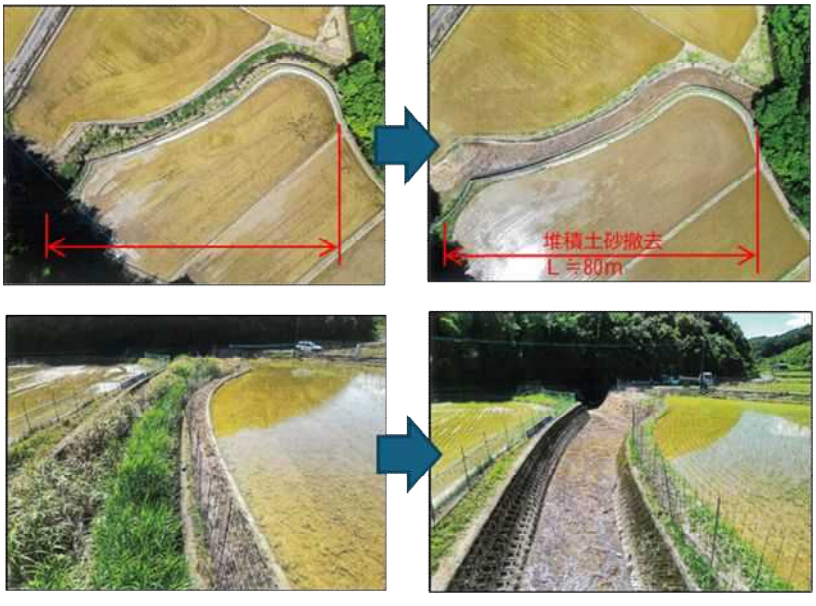
R６年度実績					
工種	箇所数	事業費	工種	箇所数	事業費
治山タム工	１１箇所	636,404	地すべり対策	４箇所	602,578
山腹工	５箇所	144,384	落石対策	２箇所	86,074

日向市 【建設課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去

○河川パトロールにおいて、河道に支障となる草木等があれば、水災害のリスクを未然に防ぐため、撤去を行う。



【実施河川】▼耳川水系内ノ口川



令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【林業水産課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。

〇間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和５年度実績】

造林面積：44.96ha

間伐面積：67.29ha

美郷町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	雨水貯留機能の強化
	【小項目】対策メニュー	直接支払制度を活用した維持管理による被害の軽減

【概要】

用排水路や農道の適正な維持管理、周辺林地の管理、水田が持つ雨水貯留機能の向上により、周辺地域の被害の軽減を図った。

日本型直接支払制度	協定数
中山間地域等直接支払制度	４０
多面的機能支払制度	３４
計	７４

様式２

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

美郷町	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	森林整備事業
	【小項目】対策メニュー	再造林、保育（除間伐等）

【概要】
　再造林、保育（除間伐等）の推進により、森林資源を造成し、土砂流出防止機能や保水機能の確保、向上を図った。

森林整備状況（令和６年度予定）

事業区分	事業内容	面　積
森林整備	新植	２４１ha
	除間伐	６７ha
	計	３０８ha

美郷町の森林面積 ：　４０，１６４ha
うち民有林面積 ：　３９，１００ha

諸塚村	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

○森林が持つ水源涵養機能等を発揮させるため、計画的に間伐や下刈り等の適切な森林整備を実施する。

令和5年度実績

○間伐面積　25.83ha
搬出間伐　11.66ha
保育間伐　14.17ha

○下刈面積　13.84ha

○造林面積　102.06ha

下刈り作業

間伐作業

植付作業

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

椎葉村	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	造林事業、間伐促進事業、治山堰堤事業　等

【概要】
〇林地崩壊防止、雨水貯留機能向上のために造林･間伐･治山事業を実施した。

R６年度実績			
造林・保育事業	68ha	治山事業	3箇所
事業費	19,823千円	事業費	7,778千円

保育(下刈)施業

保育(間伐)施業

着工前

事業完了

治山事業(流木等撤去)

森林整備センター	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和６年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
16ha	58ha	111ha	6ha	4,725m

森林整備実施イメージ

間伐実施前

間伐実施後

様式２

令和６年度　　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎北部森林管理署	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	山腹工

【概要】
〇土砂流出軽減のため、山腹工を設置した。

R5年度実績

実施数　　1箇所

事業費　　約0.9億円

宮崎北部森林管理署	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林の保全・整備

【概要】
〇土砂流出軽減のため、森林整備事業（間伐・下刈）を実施した。

R6年度実績

実施数　　352ha

事業費　　約3.1億円

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

九州電力	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流水の貯留機能の拡大
	【小項目】対策メニュー	利水ダムにおける事前放流の実施

〇令和６年度については、治水協定を踏まえたダム操作規程に基づき、適正な事前放流操作を１回実施した。

〇今後も引続き、安全なダム放流操作に取り組んでいく。

令和6年8月台風10号における事前放流対応実績一覧表

ダム	事前放流種別	基準降雨量（降雨継続時間）	事前放流			
			実施態勢入り	事前放流開始	事前放流終了	実施態勢解除
上椎葉	既・確保済	184㎜（6h）	8月25日 19時19分	8月28日 22時34分		8月31日 10時00分
岩屋戸	水位低下実施	181㎜（6h）		8月28日 13 時00分	8月28日 16時10分	
塚原	既・確保済	249㎜（9h）		8月28日 12時49分		
諸塚	水位低下実施	211㎜（6h）		8月28日 18時15分	8月28日 22時10分	
山須原	既・確保済	306㎜（12h）		8月27日 15時35分		
西郷	既・確保済	311㎜（12h）		8月27日 15時34分		
大内原	既・確保済	314㎜（12h）		8月27日 12時14分		

宮崎県【日向土木事務所】	【大項目】区分	２．被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実
	【小項目】対策メニュー	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

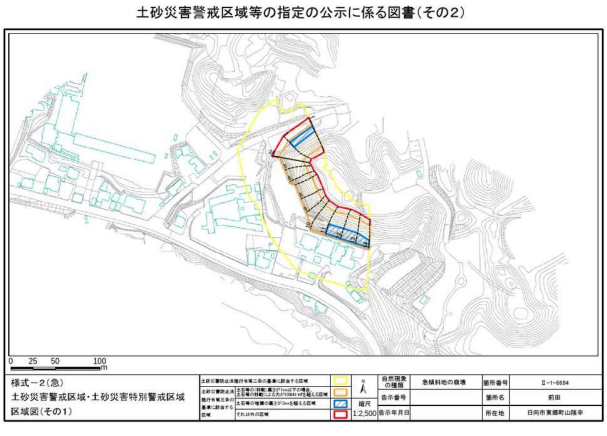
【概要】

〇土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、現在、２巡目の基礎調査を実施しており、土地の改変等が確認された箇所については、順次指定箇所の見直し等を行っていく。

〇指定箇所については、県HPで公表するとともに、市町村に情報提供を行い、ハザードマップへの反映を依頼

県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表

HP：www.sabomap/miyazaki



公表されている公示図書の一部

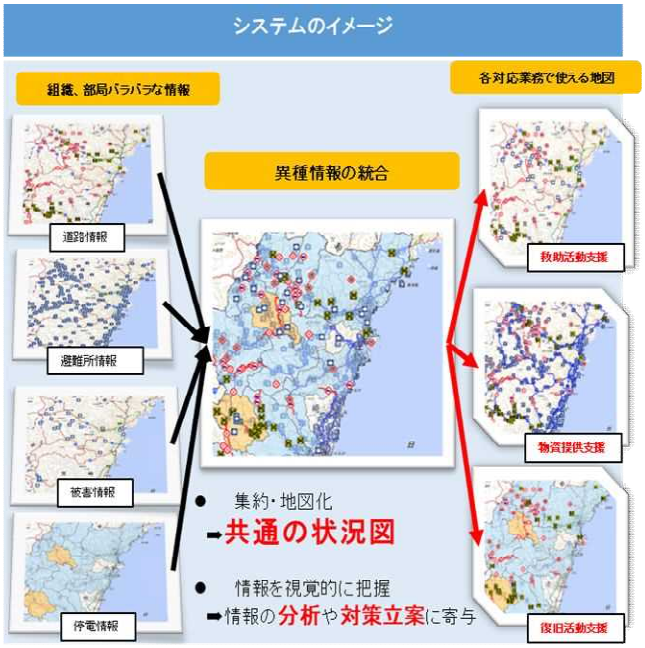
令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	防災学習・避難体制の強化
	【小項目】対策メニュー	防災の日、防災週間における防災啓発

【概要】
毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



様式２

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【建設課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年1回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長（km）	点検方法	
			頻度	時期
A（重要）	43	71.9	年１回	出水期前（５月下旬～６月上旬）
B（準重要）	40	50.8	年１回	台風接近時期前（６月～８月）
C（その他）	38	66.2	年１回	年間を通じて（９月～３月）
計	121	188.9		

【対象河川】▼耳川水系の普通河川（千鳥川ほか２５河川）

日向市 【防災推進課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援

避難訓練の様子（ＪＡみやざき日向地区東郷支店）

【目的】

土砂災害や浸水のおそれのある区域や避難場所等をハザードマップで確認し、早期避難のための意識啓発を行う。

【対象】

小中高生、自主防災会、企業、地域団体等

【概要】

大雨による土砂災害発生のメカニズムや浸水想定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及び避難場所等の確認を行った。

【効果】

近年の大雨の状況や、危険箇所を確認することにより早期避難の重要性を考える機会となった。

様式２

令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

諸塚村	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難体制等の強化
	【小項目】対策メニュー	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援等

防災訓練

危険箇所調査

土砂災害防止講座

宮崎県、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	特定都市河川に関する勉強会

流域治水をより実効性の高い取組とするため、特定都市河川に関する勉強会を令和６年８月２２日に開催した。

参加者：

日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町の関係課長

宮崎県県土整備部河川課、日向土木事務所

講師：

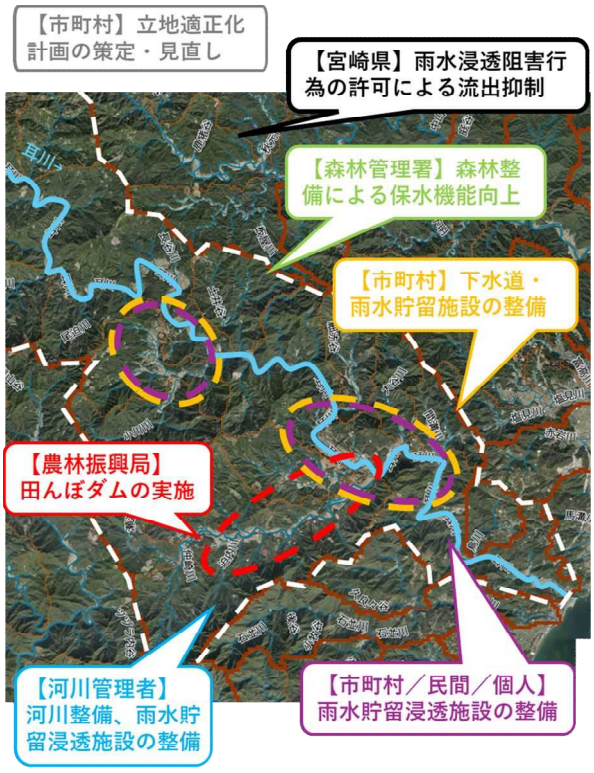
国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

勉強会の内容：

指定要件及び指定区間の考え方、

各管理者の取組イメージ、

指定によるメリット・デメリット等

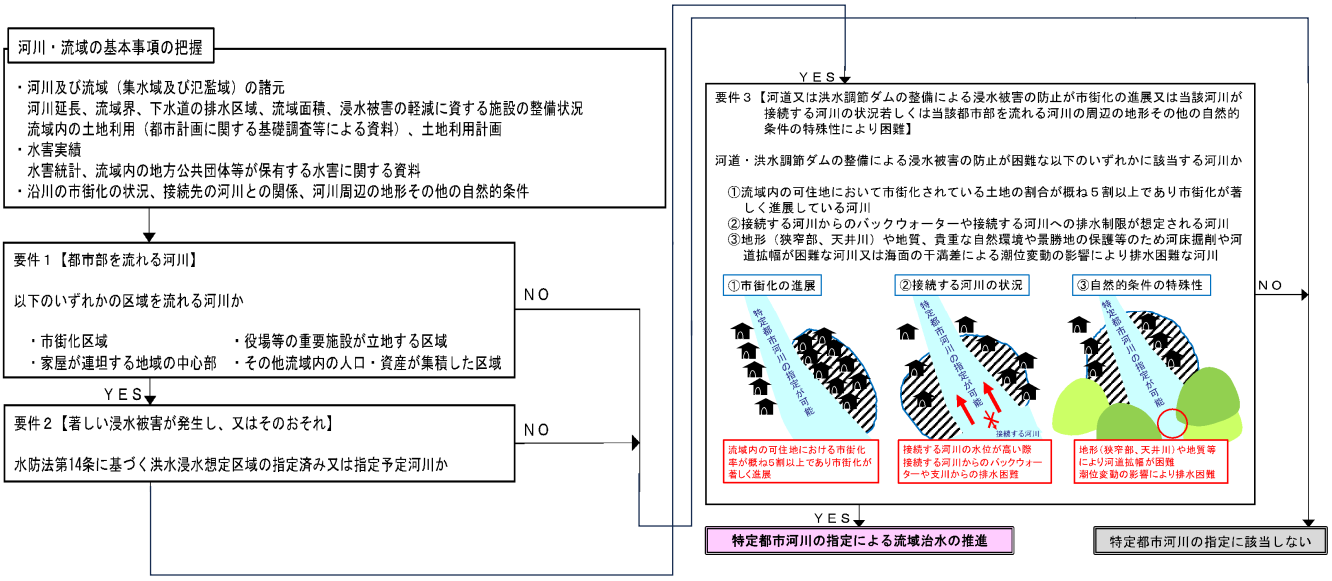


令和６年度　耳川水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県【日向土木事務所】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	特定都市河川の指定に関する検討

特定都市河川の指定を検討するため、指定要件に関する基礎資料の整理、対象区間の検討に着手した。

今後、指定要件を満足することが確認できれば、特定都市河川の指定に関する勉強会・意見交換会を順次開催していく予定である。



日向市【関係部局】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	日向市流域治水ワーキンググループによる検討

日向市では、浸水対策の素案検討を行うため、令和５年４月に関係課で構成する「日向市流域治水ワーキング会議」を設置し、県の担当者にも参加いただきながら、これまで５回の会議を開催し、市の関係部局で横断的に浸水対策を検討してきた。このワーキンググループにおいて、令和５年８月に「浸水対策素案報告書」（19事業）をとりまとめた。今後、この事業の中から、県の取組と連携して、必要な事業を実施していく予定としており、令和６年度は、内水被害軽減のための仮設ポンプ設置（小野田地区、余瀬地区、幸脇地区）や市管理河川の堆積土砂除去を実施した。

■開催実績

名称	開催日	検討内容
第１回	R5.5.29	・令和４年台風第１４号被害 ・浸水対策検討スケジュール
第２回	R5.7.7	・検討の進め方 ・素案等の検討
第３回	R5.8.29	・内水対策報告書とりまとめ ・来年度の浸水対策の検討
第４回	R6.1.25	・来年度の浸水対策の確認
第５回	R6.7.17	・内水対策取組状況の確認

■令和６年度の取組状況

・仮設ポンプ設置状況（R8.8.27 小野田地区）

・河川堆積土砂撤去の状況

■流域治水ワーキング会議構成員

【構成員】防災推進課、建設課、都市政策課、建築住宅課、下水道課、農業畜産課、林業水産課、消防本部　警防課の係長

【オブザーバー】日向土木事務所　河川担当

令和６年度　その他水系
流域治水プロジェクト　フォローアップ

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【日向土木事務所】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	洪水氾濫対策
	【小項目】対策メニュー	河道掘削

【概要】
〇土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した。
〇次年度以降も引き続き実施していく。

R6年度その他水系　河道掘削			
事業費	約15百万円	河道掘削	約1.5千㎥

水無川（日向市高松地区）

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（再造林、下刈り、間伐等）

〇河川上流域の民有林では、防災・保水機能を発揮させる森林整備に取り組む。
〇適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、下層植生の繁茂や根系発達を促進し、表土の流出抑制や、保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能を発揮させる。

森林整備事業の取組状況（令和５年度実績：日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村）
①再造林：６２４ｈａ　②下刈り：２，９５４ｈａ　③除間伐：８６５ｈａ

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

日向市 【林業水産課】	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	森林整備（造林・間伐・一貫施業）

【概要】

森林の有する土砂流出防止機能や水源涵養機能、洪水緩和機能等を適切に発揮させるため、間伐や再造林等の適切な森林整備・保全を行った。

【効果】

〇伐採から定植までを行う『一貫施業』を推進し、伐採後の荒廃地の防止を図った。

〇間伐を促進し、山林の保水能力を高め、斜面崩壊の低減や土砂流出の防止を図った。

【令和５年度実績】

造林面積：44.96ha

間伐面積：67.29ha

森林整備センター	【大項目】区分	１．氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
	【中項目】対策内容	流域の雨水貯留機能の向上
	【小項目】対策メニュー	水源林造成事業

・水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
・水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。

令和６年度実績				
植栽	下刈	除伐等	間伐	作業道
0ha	30ha	23ha	16ha	540m

森林整備実施イメージ

間伐実施前　　間伐実施後

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

門川町	【大項目】区分	２．被害対象を減少させるための対策
	【中項目】対策内容	防災・避難体制の強化
	【小項目】対策メニュー	中高生を対象とした防災士養成講習会

防災意識の向上と知識の取得。地域における防災力の向上を目指し、宮崎県危機管理課と協力をし、８月に中高生を対象とした防災士養成講習会を県内で初めて開催をした。カリキュラムについても特例で３日間かかる養成講習会を２日間で行い、多くの防災士の養成を行った。

当日は、日向灘地震も発生し、予想もしえない実地体験もあったが、多くの中高生が防災・減災についての知識を取得し、資格を取得した。

今回の養成講習会を機に、多くの中高生が防災について考え、意識向上が引き続き出来る様な施策を今後検討を行いたい。

宮崎県 【東臼杵農林振興局】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握

○　土地改良区が管理する樋門等の土地改良施設において、維持管理状況を県・市町・土地改良区の三者で確認し、適正管理の啓発を実施。

県・市・土地改良区による適正管理の啓発

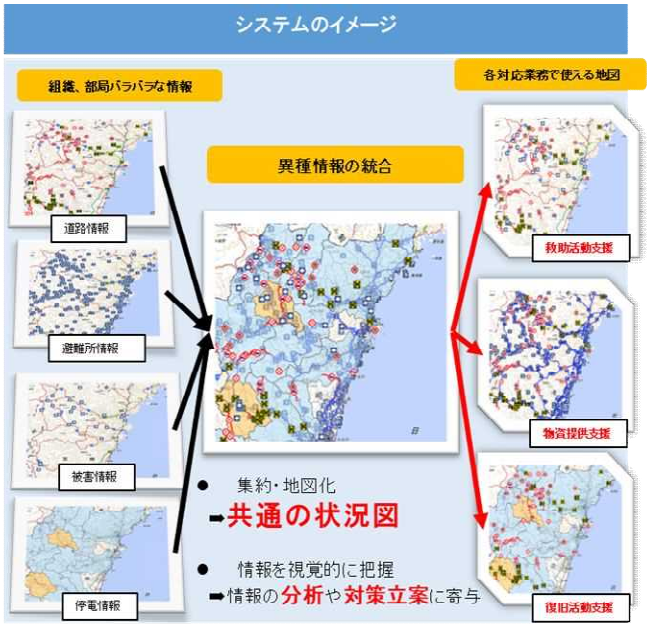
五十鈴土地改良区（五十鈴川）

百町原土地改良区（石並川）

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ

宮崎県 【危機管理課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	避難態勢等の強化
	【小項目】対策メニュー	防災情報の共有

宮崎県防災情報共有システム＝SIP4D利活用システム
※SIP4Dとは、多数の組織から異なる形式で発信される様々な情報を、集約・加工・変換して提供する基盤的防災情報流通ネットワーク



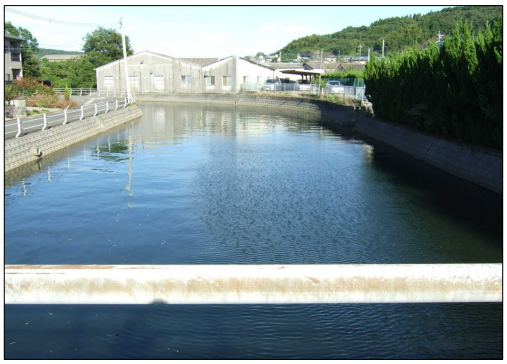
日向市 【建設課】	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	土地の水災害リスク情報の充実
	【小項目】対策メニュー	河川パトロールによる災害リスク情報の把握

○普通河川のパトロールについては、水災害によるリスクの軽減を図り、情報を把握するため、年１回の通常点検、異常気象時や全国的な課題や国・県からの指導等に応じて実施する緊急点検を行っている。

普通河川点検内容一覧

ランク	本数	延長（km）	点検方法	
			頻度	時期
A（重要）	43	71.9	年１回	出水期前（５月下旬～６月上旬）
B（準重要）	40	50.8	年１回	台風接近時期前（６月～８月）
C（その他）	38	66.2	年１回	年間を通じて（９月～３月）
計	121	188.9		

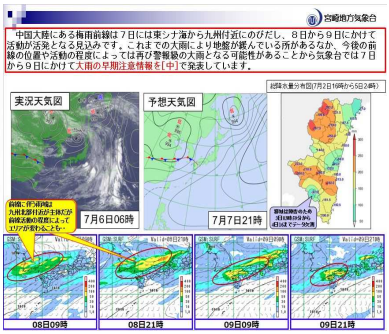
【対象河川】▼その他水系の普通河川（庄手川ほか）



様式２

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ		
宮崎地方気象台	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	防災気象情報にかかる勉強会・気象解説

○ 防災気象情報の利用普及を図る取組みとして、自治体担当者を対象にオンラインツールを活用した勉強会や定時気象解説などを実施している。



- オンラインツールを活用した取組は、参加者にとっては移動時間がなく有効に時間を使えるため効果的である。
- 効果的な支援に向けた課題：質問しやすい環境づくりやポイントを絞った説明資料づくり、また、トピックス的な内容を盛り込むなどの工夫が必要。

宮崎地方気象台	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	水災害リスク情報の提供・充実
	【小項目】対策メニュー	台風説明会等の実施

概要

○気象台では、大雨や台風接近時には、メールやホットラインにより注意・警戒を呼び掛けるほか、台風説明会（報道向け・自治体関係者向け）を実施している。

効果

○早い段階からの情報提供により、体制判断や避難所の開設判断等に活用できる。
○危機感や防災意識が高まる。

関係者からは、避難情報の発令や避難所開設の判断を行う上で非常に有益であったと声をいただく一方で・・

課題

○ 予測精度の問題もあるが、

・段階的な解説
・解説内容の工夫
・過去事例の引用

など危機感を高めるためのさらなる改善が必要

様式２

令和６年度　その他水系流域治水プロジェクト　フォローアップ		
宮崎県、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町	【大項目】区分	３．被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
	【中項目】対策内容	関係機関との連携強化、被害軽減に向けた具体的検討
	【小項目】対策メニュー	特定都市河川に関する勉強会

流域治水をより実効性の高い取組とするため、特定都市河川に関する勉強会を令和６年８月２２日に開催した。

参加者：

日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町の関係課長

宮崎県県土整備部河川課、日向土木事務所

講師：

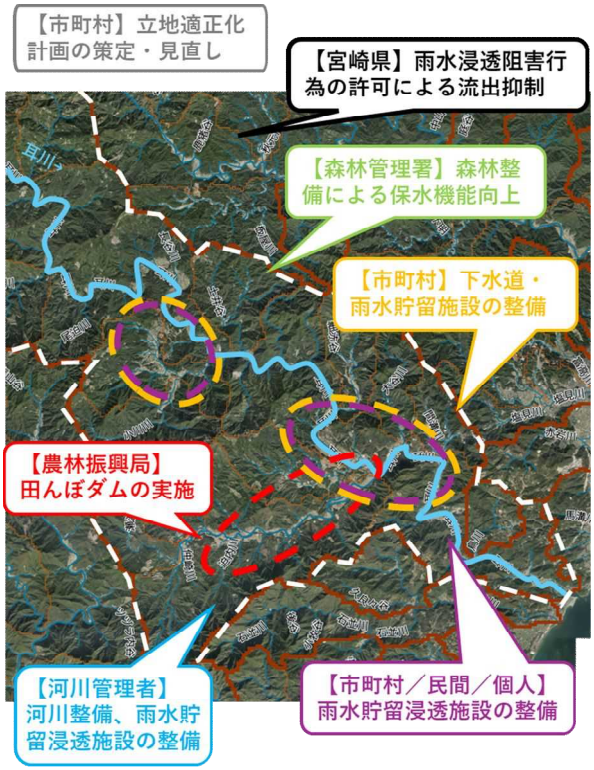
国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所

勉強会の内容：

指定要件及び指定区間の考え方、

各管理者の取組イメージ、

指定によるメリット・デメリット等



	【大項目】区分	
	【中項目】対策内容	
	【小項目】対策メニュー	